

■ 『種蒔く人』を創刊

金子 洋文

かねこ ようぶん

出身地 秋田市

1894年（明治27年）～1985年（昭和60年）

小牧近江、今野賢三らと『種蒔く人』を創刊。『文芸戦線』にも参加。小説・戯曲のほか詩・評論も書き、成立期プロレタリア文学運動で活躍する。戦後は参議院議員、新国劇などの劇作・演出にも当たる。



年譜

- 1894年 秋田市に生まれる。本名・吉太郎。
- 1913年 県立秋田工業学校卒業。
- 1917年 武者小路実篤宅に寄寓、白樺派同人と交流。
- 1919年 帝国劇場の脚本募集に「村の慈善会」が入選。
- 1921年 『種蒔く人』を創刊。同誌に小説「眼」等発表。
- 1924年 『文芸戦線』の編集担当。後に、劇作家として『銃火』『飛ぶ唄』『天井裏の善公』を発表。
- 1947年 参議院議員。
- 1953年 『社会主義文学』の創刊に参加。
- 1985年 東京都で没。90歳。